

# HONOKUNI CHALLENGE OFFICIAL RULE

## HEAD

スピリットカラテルール  
前蹴り 足刀 踵落とし  
回し蹴り 後ろ回し蹴り  
膝蹴り  
(一般男子のみ有効)  
エキスパートルール  
上記の技+手技

有効技

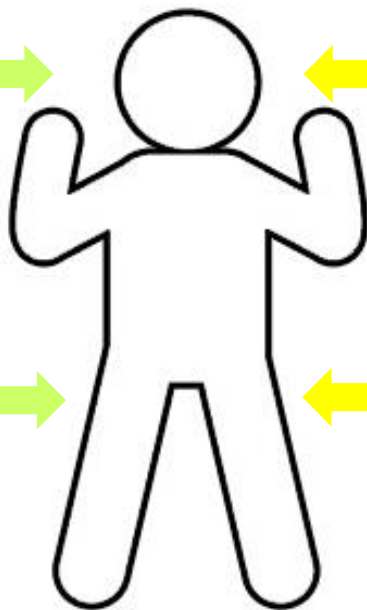


反則技



## HEAD

スピリットカラテルール  
上段膝蹴り  
(一般男子のみ有効)  
頭突き  
全ての手技が禁止  
エキスパートルール  
目突き 掌底突き  
頭突き 肘打ち  
バックハンドブロー  
※スピリットルールのグローブ延長  
戦はエキスパートルールに準ずる



スピリットカラテルール  
エキスパートルール  
共通  
正拳突き 手刀打ち  
掌底打ち 肘打ち  
前蹴り 足刀  
回し蹴り 後ろ回し蹴り  
膝蹴り  
**BODY**

スピリットカラテルール  
エキスパートルール  
共通  
金的・下腹部への攻撃  
(腸蹴りを除く)  
**BODY**

## 一本

- ①一時的にダウンをするか戦意を喪失した場合
- ②技有りを2回奪う
- ③ポイント3を奪う(ジュニア・女子のみ)
- ④主審・医師が合続行不可能と判断した場合

## 技あり

- ①一時的に戦意を喪失し、ダウンをして3秒以内に構えを作った場合
- ②上段によるポイントを2回奪った場合  
(女子・エキスパートのみ)
- ③足掛け下段払い、裏投げで相手を倒し下段突き(寸当)を決めた場合
- ④エキスパートルールにおいて顔面への突き技がクリーンヒットし一時的でもバランスを崩した場合

## ポイント

- ①上段にクリーンヒットした打撃
- ②ジュニアクラスにおいて中段に蹴り技(前蹴り・足刀)がヒットし相手が転倒した場合  
※一般女子・ジュニアのポイントは2で技有り3で一本勝ちとなる  
エキスパートクラスは計4ポイントで一本となる

## 判定の審議について

- ①競技判定において審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判長にある
- ②審議内容については監査・審判が説明。決定にはいかなるクレームも受け付けない。

## 反則

反則による減点が2となった場合は反則負けとなる  
危険行為 注意2→減点1 注意3→失格  
掴み 注意3→減点1 減点は合算する。

### 反則の種類

- 危険行為**
- ①顔面(首含む)への手技・頭突きでの攻撃  
(エキスパートルールを除く)
  - ②金的・下腹部(腸蹴りを除く)への攻撃
  - ③主審の「やめ」の後での攻撃
  - ④腰から上へ持ち上げての投げ
  - ⑤背後から正中線への攻撃
- 掴み**
- ①相手の道衣を握る事
  - ②クリンチを仕掛ける事
  - ③ヘッドガードに手をかける事(少年部)
- その他**
- ①故意に場外へ逃げる事  
(3回→注意1 4回→減点1 5回→失格)
  - ②主審が危険と判断した場合
  - ③規定に満たない防具・入場した場合  
(コート内で発覚→減点1)

## 失格

- ①試合中、審判員の指示に従わなかった場合
- ②出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ③各階級の規定体重をオーバーした場合  
(少年部3キロ未満、一般部5キロ未満は減点1)
- ④減点を2回重ねた場合  
(危険行為の減点は3回目の注意で失格となる)
- ⑤反則により対戦相手が続行不可能となった場合
- ⑥審判が危険と判断した場合

# 判定の優先順位

一本>技有り>ダメージ>有効打（的確な攻撃）＝減点・ポイント有無>主導権>積極性

優

劣

※ポイントはジュニア・女子部は足技のみ有効、エキスパートルールは手技のクリーンヒットも有効  
ポイント1＝減点1

## 試合時間

クラス	ルール	本戦	延長	再延長		
ジュニア (幼年～中学生)	スピリットカラテ ジュニア	1分30秒	1分	体重判定(3キロ未満)	1分	軽量勝利
マスターズ レディース	スピリットカラテ	2分	1分	体重判定(5キロ未満)	1分	軽量勝利
一般男子B・C 一般女子B・C	スピリットカラテ	2分	2分	体重判定(5キロ未満)	1分	軽量勝利
エキスパートB	エキスパート	2分	2分	体重判定(5キロ未満)	2分	軽量勝利
エキスパートA	エキスパート	3分	2分	体重判定(5キロ未満)	2分	軽量勝利

※ジュニアクラス(中学生まで)は、決勝戦以外は再延長戦は行わない。延長戦→軽量選手勝利

※一般部(マスターズ・レディース含む)は、予選から再延長ありで行う。

※一般女子・レディースは全てヘッドガード着用で試合をする。

※エキスパートマスターズの試合時間はスピリットカラテマスターズに準じ、ヘッドガードはノーズガードありで行う。

## 防具規定

○は必須△は任意

	幼年(男女)	小学生男子	小学生女子	中学生(男女)	一般男子	一般女子
ファウルカップ	○	○		○男	○	
アンダーガード	△		○	○女		○
インナーチェスト	△	△	○	△		
ヘッドガード	主催者用意	主催者用意	主催者用意	主催者用意		主催者用意
スポーツブラ			○	○女		○
拳サポーター	○	○	○			
グローブ				○	○	○
スネサポーター	○	○	○	○	○	○
ヒザサポーター	△	○	○	○	○	○
マウスピース	△	△	△	△	△	△

1. インナーチェストは任意、腹部まで保護する物は認めない。
2. 小学4年生～中学生女子はインナーチェストかスポーツブラを必ず着用すること。
3. 一般部エキスパートルールのグローブ・ヘッドギアはこちらで用意します。(マウスピースは必ず各自用意)
4. 中学生以上のグローブは各自で用意、受付け終了後本部席にてインスペクターの承認を受ける。
5. 一般男子Aクラスは膝サポーター(任意)、ファウルカップのみ着用(マウスピースは必ず各自用意)
6. 拳へのテーピングは保護を目的とし、強化のためのテーピングは認めない。
7. エキスパートクラスは脛サポーター、膝サポーター着用で行う。バンテージの使用は認めない。